

令和5年度岡山県農林水産総合センター 森林研究所（林業研究室） 機関評価結果票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 人	優れている 5人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>1. 岡山県の造林事業の優良種苗確保事業、評価依頼試験、試験研究課題については森林・林業木材関係者から広く公募するなど、地域の要請に沿った実用的な試験研究に取り組んでいる。</p> <p>2. 適切な運営方針の元、課題の重点化を行い、事業や研究を進めている。</p> <p>3. 本県の造林事業に必要な優良種苗確保が使命との認識のもと、行政課題や施策、県民の声を先読みしたテーマ設定に努めている。</p> <p>4. 森林研究所のフィールド機能を生かした運営がなされている。</p> <p>5. 普及啓発や次世代の担い手育成に尽力している。</p> <p>6. 優良種苗の確保について、今後、需要が増えることが予想されており、それに対し、どのように対応するかが課題とのことであり、しっかりとした対策を講じていただきたい。</p> <p>7. 実用的研究のほか、長期データの地道な蓄積等も続けて欲しい。</p>					
2 組織体制及び人員配置並びに予算配分	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>1. 限られた人員と予算を適切に配置・配分して、課題をしっかりと遂行している。</p> <p>2. 外部との連携も効果的に行われている。</p> <p>3. 限られた人員・予算の中で多岐にわたる試験研究をこなしている。</p> <p>4. 人件費や経費が増加するなか、県施設の予算はいずれも横ばいと思うが、優先度の高いものに注力配分している。</p> <p>5. 森林分野への高まる期待のためには、さらなる人員および予算の確保を、今後、検討していくことが望ましい。</p> <p>6. 現在の森林林業の動向から考えるとやむを得ないが、研究課題が育林育種に偏っている。</p> <p>7. 研究予算で施設や展示林等の管理に必要な運営費が約半分を占め、優良種苗確保事業の予算が皆伐再造林が増大しようとしている中、年々減少している中で、その予算確保に努めてほしい。</p>					
3 施設・設備等	非常に優れている 人	優れている 2人	妥当 4人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>1. 毎年、事業・研究に必要な機器が導入されており、事業の効率化、研究の高度化が図られており高く評価できる。</p> <p>2. 今後の試験研究等を見据えた機器の新規導入が予定されており、充実が図られている。</p> <p>3. R3年度にドローンやデジタルマイクロスコープ等、先進の技術を導入している。R5年度はドローン搭載用計測システムを導入予定とのことで、滞りなく導入推進し、調査研究で成果が挙げられるよう積極的な活用を期待する。機材導入と研究成果の深掘りがリンクすることで、次の予算編成への好循環になることを期待する。</p> <p>4. 設備については、年数が経過するとメンテナンスが大変になるため、必要な更新等が重要と思われる。</p> <p>5. 老朽化設備・施設の更新および修繕を進めていただきたい。</p>					
4 研究成果	非常に優れている 2人	優れている 2人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>1. 「岡山甘栗栽培マニュアル（改訂版）」、「少花粉スギ・ヒノキコンテナ苗生産マニュアル（初版）」の作成・公表等により、地道な研究成果を広く指導に役立てている。</p> <p>2. 得られた研究成果について、普及のためのマニュアル化およびそれらのweb公開、関連動画のweb公開など積極的な社会還元がなされている。学術論文としての取りまとめも期待したい。</p> <p>3. 甘栗について、研究成果の普及が進んでおり、栽培面積も着実に増加していることは、高く評価できる。技術マニュアルについても積極的に作成し、普及につなげる努力がなされている。その結果、菌根菌の培養マニュアルについての大阪大学からの問合せ、見学もあった点など、外部からも評価されていることがわかる。</p> <p>4. 特許等について積極的に取得し、さらに製品化につなげており、高く評価できる。</p> <p>5. 岡山における甘栗のブランド形成に期待が高まる。</p>					

6. 花粉症は国民的問題になってきているので、小花粉スギ・ヒノキの苗形成が普及し、現在大量の花粉を発生している成熟木が一通り伐採され、花粉症の県民が安心して暮らせるようになるとありがたい。

5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、 依頼試験、情報提供等所掌業務の実施状況	非常に優れている 1人	優れている 1人	妥当 4人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
---	----------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

- 多忙な研究業務の傍ら、多数の技術相談・指導によく携わっている。今後も、試験研究成果の情報発信に努めてほしい。
- 限られた人員で数多くの依頼によく対応できている。
- 県民等からの相談等にしっかりと対応していると思われる。林業普及組織とも連携してしっかりと講習指導を実施している。
- トピックとなるような研究成果および所内での話題等、動画による情報発信も進めていただきたい。
- 岡山甘栗のマニュアル周知と啓発によりその問い合わせが伸びているとのことであるが、問い合わせの個別対応は顧客満足度向上の上で大切ではあるが、手間がかかって時間を浪費する。対応にはマニュアルだけでなく、ユーチューブによる動画作成等も活用しているとのこと、様々な媒体を活用して定型化できるところは定型化し、調査研究の方の時間をしっかりと捻出していただければと思う。
- ナラ枯れは南下にともない人目に触れる機会が増えて問い合わせも増えると思うが、最新情報を踏まえ、対応要領（チラシ）のようなものがあると、より対応を定型化することができ、効率化につながるのではと思う。

6 人材育成	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
--------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

- 限られた人員で多くの業務を遂行している現状においても、若手を技術習得のため、数ヶ月間派遣するなど人材育成が図られている。
- 人材育成のために研修等をうまく活用している。3件もの外部受賞・表彰を受けており、優れた人材の育成がなされていると思われる。
- 国の機関への派遣、各種学会等への積極的な参加・交流により研究者としてのレベルアップにつなげてほしい。
- 関連機関との交流を図りながら調査研究に取り組み、研究報告書も毎年発行されている。是非、こうした取組の風土や技術を次世代に継承して欲しい。調査研究や研究報告作成の過程に関わる事自体、良い人材育成につながり、積極的な外部との交流も人材育成上重要と思う。

7 他機関との連携	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 5人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
-----------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

- 大学や他府県の試験研究機関、民間等との連携を多く行っており、評価できる。
- 今後も他機関との連携を図ってほしい。
- 限られた機関での活動は人員的にも予算的にも厳しいものがあるので、様々な関連機関との交流が効率的であると思う。

8 県民・地域への貢献	非常に優れている 人	優れている 人	妥当 6人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
-------------	---------------	------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

1. 県民・地域のニーズに応じた研究等が展開されており、多様な手段を使って成果等の還元が行われている。
2. 研究成果発表会・ホームページ等により情報発信に努めてほしい。
3. 森林研究所のホームページは主として新着情報で構成されているが、過去に発行され電子化されている業務報告および研究報告の一覧が見られるページを作っていただきたい。
4. 食べて美味しい岡山甘栗や、少花粉スギ・ヒノキの作出等、一般家庭にも周知していく工夫で、より認知が進み、尽力が報われることを期待する。
5. ホームページ等での啓発で施設や活動がより周知されることを期待する。

9 前回指摘事項への対応

非常に優れている 1人	優れている 人	妥当 5人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
----------------	------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

1. 妥当な対応が行われている。
2. 指摘事項に対し、適切に対応がとられている。

総合評価

非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

1. 多岐にわたる試験研究課題を限られた予算と人員でよくこなしている。
2. 少ない人員と予算の中、多くの研究で大きな成果を上げている。特に実用的な成果が多く県民の期待にも応えている。
3. 環境譲与税等の活用により、予算の増・人員の増をしてほしい。
4. 課題や受託研究の中で期間終了後も継続が望まれる、あるいは科学的に興味深く発展が期待される研究テーマ・研究シーズのため、競争的資金など外部資金の獲得を目指すこともご検討いただきたい。
5. 森林の持つ様々な機能（木材生産、二酸化炭素吸収固定、代替エネルギー、公益的機能など）のさらなる発揮に対する県民の期待は高まる一方で、それにこたえられるような研究開発に今後も取り組んでいただきたい。
6. 今後、林業だけでなく人手不足が益々深刻になり、作業効率の面で効果的な結果が見込める活動や調査研究が強く求められると思うので、今後も期待している。

注意事項

各評価委員の評価内容を基に、重複する評価内容を取りまとめて記載する等、2～3枚程度でとりまとめてください。また、この資料は、HP で公表されるとともに、農林水産委員会等の資料として使用予定ですので、特定の個人を指す事例や特許取得等に支障がある内容は表現を改める等、個人情報の保護や知的財産権の取得等に支障がないよう、配慮してください。